

施策番号	1224		
施策名	子育ての支援を求める家庭への応援体制の構築		
概要	子育てに関する情報提供や相談、また、地域全体の重層的な子育て支援のネットワークの充実など、子育て支援を求める家庭を社会全体で応援する体制を構築する。		
担当局	保健福祉局	共管局	教育委員会
上位政策	122 子どもを安心して産み育てる		

施策の評価

1 客観指標評価

	17年度	18年度	19年度評価				
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1 こどもみらい館年間利用者数（人）	b	c	413,115	403,861	434,313	95.1%	d
2 地域子育て支援ステーションの相談件数（件）	b	b	4881	5121	5280	97.0%	b
3 子ども支援センターの相談件数（件）	a	a	1148	1570	1148	136.8%	a
4 地域子育てステーションの交流事業等実施回数（回）	e	a	6,928	6,947	6,928	100.3%	a
5 母子福祉センター（事業）利用者実績（人）	a	a	1,084	1,250	1,084	115.3%	a
6 -	-	-	-	-	-	-	-
7 -	-	-	-	-	-	-	-
8 -	-	-	-	-	-	-	-
9 -	-	-	-	-	-	-	-
10 -	-	-	-	-	-	-	-
	b	b	客観指標総合評価				a

2 市民生活実感評価

設問	子育てに不安を感じたときに気軽に相談できる場所があるので、心強い。					
回答	17		18		19	
	回答者数	回答率	回答者数	回答率	回答者数	回答率
a: そう思う	18	3.6%	14	3.1%	13	3.1%
b: どちらかというと思う	89	17.7%	80	17.5%	79	18.7%
c: どちらとも言えない	203	40.4%	180	39.3%	183	43.4%
d: どちらかというと思わない	121	24.1%	123	26.9%	88	20.9%
e: そう思わない	72	14.3%	161	13.3%	59	14.0%
有効回答数	503		458		422	
市民生活実感評価	C		C		C	



* この評価は、毎年5月頃実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

3 総合評価（客観指標総合評価＋市民生活実感評価）

	17	18	19
客観指標総合評価	b	b	a
市民生活実感評価	c	c	c
総合評価	C	B	B
重み付け	(理由)		
<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標 <input type="checkbox"/> 市民の実感	対象者が子育て家庭に限定されており，市民生活実感に施策の効果が反映されにくいことから，客観指標評価を重視する。		

4 原因分析・今後の方向性

客観指標総合評価についてはbからa評価に上がったものの，市民生活実感評価及び総合評価については昨年度と同様の結果でそれぞれc, B評価となった。

本市では，児童福祉センター，こどもみらい館をはじめ，各区に設置しているこども支援センター，おおむね学区毎に指定をすすめている地域子育て支援ステーションといった重層的な子育て支援体制を構築してきているが，市民生活実感評価は横ばいが続いている。今後，市民がより一層気軽に気軽に相談でき心強く感じていただけるよう，市民ニーズを分析し，より細やかな施策を立案していく。

(参考) この施策実現のための主な事務事業

	事業名	18年度予算 (千円)*	19年度予算 (千円)*	18年度事務事業評価に おける今後の方向性	担当部・課
1	乳幼児医療費支給事業	1,273,363	1,744,524	充実	保健福祉局生活福祉部地域福祉課
2	あたらしいパパママ子育てふれあい体験事業	2,973	2,973	現状のまま継続等	保健福祉局子育て支援部保育課
3	公営保育所地域活動事業	222,842	225,194	現状のまま継続等	保健福祉局子育て支援部保育課
4	子どもネットワーク運営	83,630	93,193	現状のまま継続等	保健福祉局子育て支援部児童家庭課
5	地域子育て支援ステーション	45,442	48,142	充実	保健福祉局子育て支援部児童家庭課
6	出産祝いレター等お届け事業	6,808	6,808	現状のまま継続等	保健福祉局子育て支援部児童家庭課
7	母子寡婦福祉連合会補助	1,782	1,782	現状のまま継続等	保健福祉局子育て支援部児童家庭課
8	母子家庭つなぎ資金貸付	13,936	13,936	現状のまま継続等	保健福祉局子育て支援部児童家庭課
9	母子福祉センター運営	15,654	15,654	現状のまま継続等	保健福祉局子育て支援部児童家庭課
10	母子家庭自立支援給付金事業	43,414	48,174	現状のまま継続等	保健福祉局子育て支援部児童家庭課
11	母子寡婦福祉資金貸付事業事務	21,866	22,118	現状のまま継続等	保健福祉局子育て支援部児童家庭課
12	母子寡婦福祉資金貸付事業特別会計繰出金(事務費)	5,647	5,788	現状のまま継続等	保健福祉局子育て支援部児童家庭課

(従)	13	ひとり親家庭日常生活支援事業	31,294	29,598	現状のまま継続等	保健福祉局子育て支援部児童家庭課
	14	京都市子育て支援センターいきいきセンター(つどいの広場)事業	12,946	26,856	充実	保健福祉局子育て支援部児童家庭課
	15	子ども・子育ていきいきフェア	8,073	8,073	現状のまま継続等	保健福祉局子育て支援部児童家庭課
	16	育児支援家庭訪問事業	78,391	66,511	現状のまま継続等	保健福祉局子育て支援部児童家庭課 保健衛生推進室健康増進課
	17	小・中学生就学援助費	1,204,127	1,329,579	現状のまま継続等	教育委員会総務部調査課
	18	京都市子育て支援総合センターこどもみらい館	326,927	329,127	効率化等による見直し	教育委員会こどもみらい館, 保健福祉局子育て支援部保育課
	19	子育て支援短期利用事業	67,689	64,471	現状のまま継続等	保健福祉局子育て支援部児童家庭課
	合計		3,466,806	4,082,503		
	うち, 主たる事業の合計 (従たる事業の合計)		3,399,117 (67,689)	4,018,032 (64,471)		

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含む

施策名	1224	子育ての支援を求める家庭への応援体制の構築
-----	------	-----------------------

指標名	こどもみらい館年間利用者数（人）
-----	------------------

担当課	こどもみらい館	連絡先	254-5001
-----	---------	-----	----------

1 指標の説明
こどもみらい館に来館した年間利用者数

2 指標の意味
市民への子育て支援がどれだけできているかを示す指標

3 算出方法・出典等
毎日入場者をカウント

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	17年度	18年度		数値	根拠	達成度
数値	413,115	403,861	9,254人減	434,313	過去5年間の最高値	95.1%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値	-	427,000	19年度	94.58%	-

根拠: 過去5年間の利用者人数をベースに設定した

5 評価基準
最新の数値が
a: 過去5年間の最高値以上
b: 過去5年間の最高値と平均値の間
c: 過去5年間の平均値並み
d: 過去5年間の平均値と最低値の間
e: 過去5年間の最低値以下

6 基準説明
利用者数は毎年変動するものであるため、過去5年間の平均値をもとに過去5年間の最高値以上をa、平均値並みをc、最低値以下をeと基準を設定した。
最高値 434,313（平成15年度）
平均値 421,039（平成13～17年度）
最低値 401,006（平成13年度）

7 評価結果

17	18	19
b	c	d

指標名	地域子育て支援ステーションの相談件数（件）
-----	-----------------------

担当課	児童家庭課	連絡先	251-2380
-----	-------	-----	----------

1 指標の説明
新「京（みやこ）・子どもいきいきプラン」に掲げる子どもネットワークにおいて、地域レベルでの相談拠点となる地域子育て支援ステーションで実施する子育て相談に寄せられた相談の件数

2 指標の意味
子育てに関する身近な相談が行われていることを示す指標

3 算出方法・出典等
全ステーション相談件数合計

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	16年度	17年度		数値	根拠	達成度
数値	4881	5121	240件増	5280	過去5年間の最高値	97.0%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値	-	-	-	-	-

5 評価基準
最新の数値が
a: 過去5年間の最高値以上
b: 過去5年間の最高値と上中間（最高値と平均値の間）の間
c: 過去5年間の上中間と平均値の間
d: 過去5年間の平均値と下中間（平均値と最低値の間）の間
e: 過去5年間の下中間以下

6 基準説明
過去5年間の数値を基に、過去5年間の最高値以上をa、平均値以上をcとし、最低値も含めた按分で基準を設定した。
最高値: 5,280（平成15年度）
平均値: 4,661
最低値: 3,765（平成12年度）

7 評価結果

17	18	19
b	b	b

施策名	1224	子育ての支援を求める家庭への応援体制の構築
-----	------	-----------------------

指標名	子ども支援センターの相談件数（件）
-----	-------------------

担当課	児童家庭課	連絡先	251-2380
-----	-------	-----	----------

1 指標の説明
 新「京（みやこ）・子どもいきいきプラン」に掲げる子どもネットワークにおいて、行政区レベルでの相談拠点となる子ども支援センターに寄せられた相談の受付件数

2 指標の意味
 子育てに関する総合相談が行われていることを示す指標

3 算出方法・出典等
 全センター合計

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	17年度	18年度		数値	根拠	達成度
数値	1148	1570	422件増	1148	過去5年間の最高値	136.8%

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	-	-	-	-	-	-

5 評価基準
 最新の数値が
 a：過去5年間の最高値以上
 b：過去5年間の最高値と上中間（最高値と平均値の間）の間
 c：過去5年間の上中間と平均値の間
 d：過去5年間の平均値と下中間（平均値と最低値の間）の間
 e：過去5年間の下中間以下

6 基準説明
 過去5年間の数値を基に、過去5年間の最高値以上をa、平均値以上をcとし、最低値も含めた按分で基準を設定した。
 最高値：1,148（平成17年度）
 平均値：1,042
 最低値：941（平成15年度）

7 評価結果

17	18	19
a	a	a

指標名	地域子育てステーションの交流事業等実施回数（回）
-----	--------------------------

担当課	児童家庭課	連絡先	251-2380
-----	-------	-----	----------

1 指標の説明
 京都市が指定している地域子育て支援ステーションにおいて、実施した交流事業等の回数

2 指標の意味
 子育てに関する身近な支援機関で応援体制が整っていることを示す指数

3 算出方法・出典等
 各施設からの報告件数

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	16年度	17年度		数値	根拠	達成度
数値	6,928	6,947	19回増	6,928	過去5年間の最高値	100.3%

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	-	-	-	-	-	-

5 評価基準
 最新の数値が
 a：過去5年間の最高値以上
 b：過去5年間の最高値と上中間（最高値と平均値の間）の間
 c：過去5年間の上中間と平均値の間
 d：過去5年間の平均値と下中間（平均値と最低値の間）の間
 e：過去5年間の下中間以下

6 基準説明
 過去5年間の数値を基に、過去5年間の最高値以上をa、平均値以上をcとし、最低値も含めた按分で基準を設定した。
 最高値：6,928（平成16年度）
 平均値：2,071
 最低値：601（平成12年度）

7 評価結果

17	18	19
e	a	a

施策名	1224	子育ての支援を求める家庭への応援体制の構築
-----	------	-----------------------

指標名	母子福祉センター（事業）利用者実績（人）
-----	----------------------

担当課	児童家庭課	連絡先	251-2380
-----	-------	-----	----------

1 指標の説明

京都市母子福祉センター米岡荘で実施している主な事業の利用者の延べ人数の合計

2 指標の意味

母子家庭の母等が母子福祉活動の拠点である母子福祉センターを利用できる機会の確保状況を示す指標

3 算出方法・出典等

母子福祉センター事業実績報告に基づき、主な事業の利用者の延べ人数の合計

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	17年度	18年度		数値	根拠	達成度
数値	1,084	1,250	166人増	1,084	過去5年間の最高値	115.3%

	全国順位	中長期目標			
		数値	目標年次	達成度	根拠
数値	-	-	-	-	-

備考	-
----	---

5 評価基準

最新の数値が
a：過去5年間の最高値以上
b：過去5年間の最高値と上中間（最高値と平均値の間）の間
c：過去5年間の上中間と平均値の間
d：過去5年間の平均値と下中間（平均値と最低値の間）の間
e：過去5年間の下中間以下

6 基準説明

利用者数は毎年変動するものであり、一定安定的な数字と比較する必要があるため、過去5年間の数値を基に、最高値以上をa、平均値以上をcとし、最低値も含めた按分で基準を設定した。
最高値：1,084（平成17年度）
平均値：839
最低値：433（平成13年度）

7 評価結果

17	18	19
a	a	a